

## 第3回 3市共同資源化推進市民懇談会 議 事 録

日時 平成20年7月1日(火) 午後2時～5時45分

場所 小平・村山・大和衛生組合3階 大会議室

### 1.出席者

寺嶋座長、後藤副座長、遠藤委員、小林委員、白水委員、中村委員、林委員、原田委員、  
近江委員、鈴木委員、霜出委員、平本委員、山岐委員

[事務局] 戸井田事務局長、市川課長、片山課長補佐、乙幡主査

[コンサルタント] 4名

[傍聴者] 4名

### 2.議 事

#### (1)開会

・寺嶋座長から開会の挨拶

#### (2)事務局確認事項

[事務局(市川課長)] 6月19日付けで委員に送付した第1回、第2回会議録について、修正等の要望はなかったが、内容としてはこのとおりで良いか。

(異議なし)

[事務局(市川課長)] この内容で、後日組合のホームページに公開する。なお、6月20日付けの小平市市報、7月1日付けの東大和市、武蔵村山市市報に本懇談会が立ち上がった旨の記事を掲載している。

#### (3)議題

##### 3市の現状整理(続き)

[寺嶋座長] 前回、各市の違いが分かりにくいという意見が多かったため、3市の違いが比較できる形で資料をまとめてもらった。事務局より説明をお願いしたい。

[事務局(片山課長補佐)] 資料の準備が遅れ本日の配布となったことと、資料の内容に不完全な点があることをお詫びする。

(片山課長補佐から別添資料(資料要求事項および回答)説明)

(コンサル(志賀)から資料1～5の説明)

[寺嶋座長] 資料について、質問等あればうかがいたい。

[中村委員] 資料4の武蔵村山市の鉄類の売却単価の欄にある「ガラ」とはどのようなものか。

[コンサル(新井)] 鉄類のうち、純粋な鉄ではなく、ほかのものと一緒になっていてきちんと分かれていない状態のものである。「-3円」は、逆有償(金を払って引き取ってもらうこと)を示している。

[林委員] 今の話に関連して、なべ等を出す際には、同じ金属でない取っ手等を外して出した方が良いということか。

- [ コンサル ( 新井 ) ] 業者が引き取る時の状態で判断されるので、前処理の過程で金属でない取っ手等が外されていれば、同表中の缶プレス品と同様に引き取られるが、他のものが混じった状態であれば、ガラとして引き取られると考えられる。
- [ 寺嶋座長 ] 他に何かあるか。
- [ コンサル ( 新井 ) ] 1点説明を補足したい。資料要求整理番号 25 の、「東大和市暫定リサイクル施設について、市の人説明会でふわっと圧縮しているので危険性はない、と説明しているが、本当か」との質問だが、コンサルとしての見解はよく分からないというのが正直なところである。プラスチックは日本全国で同様な圧縮・梱包が行われている。杉並で、化学物質が出ているとの報告があるが、安全基準がないため有害か否かの判断がつかない。もし人体に本当に有害であれば、国が対策を講じていると考えられる。東大和市の説明は、施設で扱っているのは各家庭で利用しているプラスチックであり、少なくともふわっと圧縮するくらいでは悪いものは出ないという趣旨だと考えられる。
- [ 中村委員 ] 杉並の件は家庭の一般ごみを圧縮する施設であり、3 市で検討している資源物の圧縮施設とは内容が異なるのではないか。
- [ コンサル ( 新井 ) ] 杉並は不燃ごみの圧縮・積替え施設である。東京都の主張は、有害物質は圧縮に由来するものではなく、排水処理施設から硫化水素が発生するというものであったが、裁判の調停において、調査した大学の先生の中には、圧縮する過程で環境微量汚染物質が放出されているという証言をしている方もいる。杉並と3市の資源化施設は、中村委員のご指摘のとおり圧縮するものに相違がある。
- [ 林 委員 ] プラスチック容器そのものの直接由来ではなく、容器に付着しているものが、施設内で保管している間に混合されることで汚染物質が放出されることはないのか。
- [ コンサル ( 新井 ) ] 現象としては起こりうる。農薬や殺虫剤の原液を排出しないことを排出者のルールとして守っていただかなくてはいけない。
- [ 中村委員 ] 様々なプラスチック類が対象となる杉並の件と、資源物だけを収集して圧縮する今回施設の検討内容は、同列で考える話ではないと思う。
- [ コンサル ( 新井 ) ] ご指摘のとおりであるが、プラスチックだけの場合でも、不燃物のような雑多なものであっても、製品として家庭で使用しているものを圧縮することで、健康被害が発生するほどの量の有害なものが放出されるとは考えにくい。
- [ 事務局 ( 市川課長 ) ] 中村委員のご指摘のとおり、杉並の例はプラスチック、缶、紙おむつ、ペットボトル等が混合した不燃物を別の場所へ中継輸送する施設であり、今回検討しているリサイクル施設とは内容が異なる。ちなみに、東京都 23 区内にはそのような中継施設が 10 箇所あり、中継施設が原因となった健康被害に関する報告は杉並以外では出ていないようだ。
- [ 寺嶋座長 ] 杉並の裁判の資料にある専門家の調査レポートでは、施設稼働時と停止時の周辺大気微量物質分析データには差が出ていない。溜まっていた排水から硫化水素が発生しているとされ、すぐに対策を施したというのが結果である。大量に発生するごみを中継輸送するために作られたのが杉並の中継施設であり、今回の検討対象とは少し違う。環境省が昨年、施設から排出される化学物質に関する調査を実施したはずなので、調査結果を後日、調べてみたい。

- [コンサル(新井)] もう1点、整理番号18番について補足する。廃プラ施設の施設数や経費に関するデータの要求だが、民間施設のデータは公表されていないため、公共施設に関する情報を記載した。ただし、費用に関しては公表されていないため、記載していない。
- [林 委員] 武蔵村山市のペットボトルに関して、前回私は「ペットボトルはその他プラスチックとして回収していないので、本来ここに含まれるものではない」と発言したが、認識の間違いであり、お詫びする。
- [小林委員] 先程、杉並と容器包装プラスチックのみを圧縮する場合には条件が異なるということであったが、容器包装プラスチックは様々な種類の可塑剤や添加剤が入っていて、圧縮された時に他の化学物質を合成したり、光や酸素などによって、別の有害物質が作られることによる環境破壊があるという資料も見るが、そのような心配はないのか。
- [寺嶋座長] 私は化学の専門家ではないので正確な回答はできないが、例えば、プラスチック製のキャストを床のビニールタイルの上で動かすような、プラスチック同士の圧縮や衝撃は日常的に色々なところで起こっている。ごみの圧縮の場合は特に激しいのかどうかだが、そこまで激しいとは思えない。プラスチックを生産するために、白血病の原因物質であるベンゼン等が大量に使われているが、沢山のプラスチックを皆さんが便利に使っている。また、自動車の排ガスの中にもベンゼンが含まれており、都心部では環境基準をオーバーしているが、日常生活の便利さとの比較の中で、使わざるを得ないと判断されている。これはリスク論の話になるが、プラスチックの圧縮による環境汚染物質の発生に関しては、あまりにも微量であるため、どの程度までが許容されるのかが判明していない。国の昨年の調査結果等、データに基づいて判断することが重要である。
- [山岐委員] コンサル、市川課長、寺嶋座長のおっしゃっていることは私が理解していることとは異なる。「よくわからないこと」は、きちんと分かるまではできるだけ避けるべきだと考える。本格的に議論をする時には意見を申し上げたい。リスクは極力避けなければならないと思うので、そのような方向で検討を進めていただきたい。
- [事務局(市川課長)] 今後、懇談会で施設のあり方について検討を進めていく中で、そのような意見についても、もちろん述べていただきたいと思う。ただし、私はわからないことがあるから全てやめるということは、現代の流れの中ではできないのではないかと考える。例えば、地球の温暖化対策として、プラスチックを含めたりサイクルの推進が全国的に進められている背景や、それに伴う危険性についても様々な対策がとられていることも考慮する必要がある。
- [山岐委員] 私は(現在の施設での処理を)一気にやめるという話はしていない。避けられるものは時間をかけてでも避けることが大事であると考えます。
- [寺嶋座長] ご意見としていただいた。ここで10分程休憩を取ってワークショップに移りたい。

### 3市の課題・問題点の抽出

( 3グループに分かれて、ワークショップ形式での議論 )

#### (4) その他

[事務局(片山課長補佐)] 第2回施設見学会の候補としてについて、A~Dの事務局案を提案している。A案は、資源化、不燃粗大の破碎・選別が一体となっている施設を見学するコース、B案は、資源化だけの機能を持った資源物処理施設を見学するコースである。C案は、不燃・粗大ごみの処理だけを見るコース、D案は、焼却、破碎、資源化施設をセットで見られる場所として、2か所選定した。なお、Dのコースについては、半日で見学することは難しいので午前・午後の終日となる。一体的資源化施設であれば府中市クリーンセンター、焼却を含めたごみ処理施設全体であれば所沢市東部クリーンセンターを事務局としておすすめしたい。

[寺嶋座長] 比較的新しい施設を見学した方が良いと考える。

[事務局(片山課長補佐)] Dのだけが1日かかる。の所沢であれば半日で見学可能である。

[寺嶋座長] より新しい施設とすると、府中市となるが。

[霜出委員] 所沢市と府中市の施設は、事務局はすでに見学したのか。

[事務局(片山課長補佐)] 両方とも見ていない。パンフレットやホームページ、都や国がまとめている資料を基に整理した。

[鈴木委員] AかDで考えるのであれば、同じ東京都である府中市が良いのでは。

[寺嶋座長] それでは府中市でどうか。

( 異議なし )

[寺嶋座長] 施設見学の日程調整をお願いしたい。

( 7月31日(木)に決定 )

[事務局(片山課長補佐)] 当日は、午後1時に本組合に集合後、バスで現地に向かうこととしたい。

[コンサル(新井)] 第4回懇談会の日程も決めていただけたらと思う。内容としては、8月の上旬くらいに、今日のワークショップのまとめと、これまでの議論を踏まえた3市及び組合の課題の整理が次回のテーマとなっている。

( 8月5日(火)午後2時からで決定 )

[鈴木委員] 事務局にお願いがある。懇談会の日程等を組合のホームページに掲載するのが遅いので、もう少し早く対応していただきたい。

[事務局(片山課長補佐)] できるだけ早く掲載するよう努力します。

[寺嶋座長] それでは本日は終了とする。

#### (5) 閉会

### 3. 配布資料

- ・別添資料 第3回 3市共同資源化推進市民懇談会別添資料
- ・資料 1 資源物等の分別区分と収集方法
- ・資料 2 各市のごみ処理フロー
- ・資料 3 施設の概要
- ・資料 4 資源化・ごみ処理に係る経費
- ・資料 5 減量・資源化に向けた取組み
- ・参考資料 ワークショップのやり方について